

# 授業科目 NO. 116 哲学的クリティカルシンキング

## Critical Thinking

授業の形態： 講義  
単位数（時間数）： 1単位（15時間）  
開講年次・学期： 2年次・後期  
必修・選択の別： 必修  
キーワード： 知的な成長、複数の視点、対話、分析的・批判的思考

### 1 金沢医科大学看護学部の到達目標（全科目共通です）

- ① 豊かな人間性と倫理観
- ② 看護学の知識と技術、及び実践力
- ③ 地域志向を視野に入れた専門性の獲得
- ④ 生涯学習能力
- ⑤ 国際的視野の獲得

### 2 学習目標

#### 1) 一般目標（GIO）

この授業は、幅広い知と柔軟な知的態度を備えた人として活躍するために、また、看護専門職者として成長するために必要となる「クリティカルシンキングの知識・スキル・態度、よりよい協力の環境を作る力」を、授業参加者が身につけることを目標とする。「一人で、また、複数人で協力して」看護学生が分析的・批判的思考を涵養することができる学修機会である。また、この授業の参加者は、他者から学ぶこと、尊重して聞くこと、自分自身や他の人が本気で問うたり考えたりすることに、これまで以上に好意的にかかわることになるだろう。クリティカルシンキングの向上には継続や日々の実践も重要だから、学びや知的なことの実践に楽しみを見つけられるようになることも目標の1つである。

#### 2) 行動目標（SBO）※カッコ内の数字は上記の金沢医科大学看護学部の到達目標との関連を示す。

- (1) 問題発見（気づき）、分析、問題解決などに役立つ知識・スキル・態度の面で成長する。  
(①④)
- (2) コミュニケーション、質問、対話などを良く行えるための知識・スキル・態度の面で成長する。(①④)
- (3) 自分の専門に加えて幅広い知を身につけて成長することや多様な人々の生き方を知ることへの意欲を持ち続けられる。(①④)
- (4) ピア（学生どうし）でクリティカルシンキングを進めることに協力できる。(①④)
- (5) 授業内容についてよく理解し、それを他人に的確に解説することができる。(①④)

### 3 学習内容

授業の内容については、授業計画に示す。

## 4 評 価

評価項目	評価割合
定期試験の評価	45%
演習の評価	35%
レポート（最終課題）の評価	20%
合計	100%

（特記事項）演習の評価というのは、授業内の活動（導入ワーク、学生どうしで協力するワークや対話を含む）、ホームワーク（ミニットペーパーなど）、レポート（最終課題）に関するコメントワークなどで評価する。

## 5 教育担当者

科目責任者：菊地 建至

准 教 授 菊地 建至（一般教育機構・医療人文学）

## 6 教 科 書

指定しない。毎回の授業でレジユメを配布し、必要に応じて論理の練習教材や読書資料も使用する。

## 7 推 薦 参 考 書

授業内で参考図書・推薦図書を示すので、積極的にそれらを読むことを期待する。

## 8 準備学習に必要な時間及び具体的な学修内容

復習やホームワークの十分な取り組みが求められる。クリティカルシンキングの知識・技能・態度は日々の実践・活用によって（それなしの場合よりも）飛躍的に向上することを知ってほしい。そういう日々の取り組みも、準備学習とみなす。準備学習に有用な情報や情報源については適宜授業で紹介する。

【自己学習（準備学習）に必要な時間】

1コマあたり 90分程度

## 9 課題（試験やレポート等）に関するフィードバック

授業で学んだ知識・スキルの理解、資料の読解などが的確にできているかということについては、基本的に全体に対して解説する。必要な場合は個別コメントも行う。クリティカルシンキングの学習では、教員が学生にするフィードバックが常に最も効果があるということではなく「学生どうしのフィードバックやセルフチェック」が有用な場合も多い。適宜それらを使い分ける。科目担当者は、「2 学習目標」に挙げた目標に学生が近づきやすいように熱心にガイド（講義、助言、場作り）をする。

## 10 履修上の注意事項

特になし

## 11 オフィスアワー等

オフィスアワーにこだわらず常時、メールや携帯ネット.com で質問することを歓迎する。また、それらで連絡をとって面談の日時を決め、直接話すこともできる。

メールアドレス     takek@g.kanazawa-med.ac.jp

## 第2学年

## 哲学的クリティカルシンキング

学期	回数	開講日	時限	区分	講義・実習内容	レポート/小テスト等	講座・科目群名	教員名
後	1	11月27日(水)	4	講義	授業ガイダンス、「気づきを言葉にできたり、観点を増やしたり、もっと質問できたりするようになるために重要なこと」		一般教育機構 医療人文 学	菊地准教授
後	2	12月04日(水)	4	講義	「他者の立場に立って考えたり他者について想像したりするときに重要なこと」「社会の中の医療(看護)1」	小さな課題(ミニットペーパー)あり	一般教育機構 医療人文 学	菊地准教授
後	3	12月11日(水)	4	講義	「デモクラシーや少数派についてのクリティカルシンキング」「論理的」ということの入門講義1」		一般教育機構 医療人文 学	菊地准教授
後	4	12月18日(水)	4	講義	「論理的」ということの入門講義2」「言葉の意味などに注目して考える」	小さな課題(ミニットペーパー)あり	一般教育機構 医療人文 学	菊地准教授
後	5	1月08日(水)	4	講義	ここまでの学習の振り返りと深化、「選択と運のクリティカルシンキング」	定期試験の説明あり	一般教育機構 医療人文 学	菊地准教授
後	6	1月15日(水)	4	講義	「選択とその環境、主体性、プライバシーなどについてのクリティカルシンキング」「社会の中の医療(看護)2」		一般教育機構 医療人文 学	菊地准教授
後	7	1月22日(水)	4	講義	「社会の中の医療(看護)3」「論理的」ということの入門講義3」	定期試験の説明あり	一般教育機構 医療人文 学	菊地准教授
後	8(7.5)	1月29日(水)	4	講義	最終課題の説明、そして最終講義	小さな課題(ミニットペーパー)あり	一般教育機構 医療人文 学	菊地准教授